

第14次群馬県総合計画（平成23年度～平成27年度）

はばたけ群馬プラン

基本構想編



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」

群馬県

ごあいさつ



群馬県は住みやすく、多彩な魅力に満ちた地域です。

東京から100キロメートル圏に位置しながらも、緑豊かな自然に恵まれており、全国に名湯とうたわれる温泉地などの観光資源、多種多様な農林畜産物、長年培われたものづくり産業の集積など、魅力に溢れています。

さらに、今年3月に北関東自動車道が全線開通し、高速道路の十字軸が完成しました。東北や東京圏、中京・関西などの地域や、空港・港湾へのアクセス性がいっそう高まり、県民生活はもちろん、あらゆる産業にとって大きなプラス効果が期待できます。まさに群馬の新時代の幕開けと言えます。

一方で、人口減少社会の到来、加速する少子高齢化、厳しい経済・雇用情勢など、本県を取り巻く社会経済環境が大きく変化し、加えて、東北地方太平洋沖地震の発生などにより、人々の災害対策への関心もいっそう高まっています。こうした時代であるからこそ、県政の方向性をしっかりと示す羅針盤の存在が必要な時代だと考えます。

私は、県民が安全で安心できる生活を守ることが県政運営の最も基本であると考え、これまでに危機管理体制の強化、「中学生までの子どもの医療費無料化」、ドクターヘリの運航による県内全域における救急医療体制の充実、生活の基盤である雇用対策など、県民の安全と安心を実現するための取組を進めて参りました。

こうした安全と安心のための取組を今後も引き続き推進していくためには、激しく変化する社会経済環境を踏まえながら群馬県の産業活力を向上させるとともに、企業活動を下支えする社会基盤の整備などが必要になります。

さらに、群馬に生きる「人」こそが安全・安心、産業活力のための基盤であり、貴重な財産です。中長期にわたって「人づくり」に取り組んでいくことが何より重要だと考えます。

群馬県は鶴が舞う形をしています。

この鶴が未来に向かって大きくはばたき舞い上がる姿を描くため、この「はばたけ群馬プラン」を策定し、群馬県の今後の10年間で展望した基本理念と、これを実現するため、5カ年間で実施すべき重点的施策を明らかにしました。

県政の主役は県民です。「はばたけ群馬プラン」の策定にあたっては、県民の視点により策定することを基本としました。各種アンケートにご協力くださった皆様、総合計画策定懇談会、地域懇談会にご参加いただいた皆様をはじめ、本計画の策定にご協力いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、「はばたけ群馬プラン」の推進につきまして、県民の皆様のいっそうのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成23年3月

群馬県知事 **大澤正明**

はばたけ群馬プラン

平成23年度～平成27年度

基本構想編



もくじ

序

1

1	計画策定の趣旨	2
2	計画の役割	2
3	計画の期間	2
4	計画の構成	3
5	計画策定の基本姿勢	3
	はばたけ群馬プランの全体構成	4

基本構想

5

第1章	群馬県の特性と時代の潮流	6
1	群馬県の特性	6
2	県民ニーズ	14
3	時代の潮流を踏まえた10年の展望	20
第2章	群馬県が目指す方向	34
1	基本理念	34
2	基本目標	36
第3章	計画の推進にあたって	38
1	県民等との協調	38
2	県政改革の推進	39
3	実効性の確保	40

県民アンケート等の結果	4 2
総合計画策定体制	5 6
策定経過	6 7
用語解説	6 9

- ・基本計画（重点プロジェクト、分野別・地域別施策展開）については別冊をご覧ください。
- ・文中の*印が付いている用語については、69ページ以降の「用語解説」をご覧ください。

序



- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の役割
- 3 計画の期間
- 4 計画の構成
- 5 計画策定の基本姿勢

1 計画策定の趣旨

人口減少社会の到来、加速する少子高齢化、厳しい経済・雇用情勢等、本県を取り巻く社会経済環境が大きく変化していく中、これに適切に対応していくことが求められています。

このためには、県のあり方の変化を踏まえつつ、今後いっそう厳しさを増す財政状況と限られた人員の中で、県民が求める重点的施策、時代の変化に対応するための施策を着実に実施していかなければなりません。

そこで、本県の優れた潜在力を活かしながら、県民生活に十分目を配り、県政を推進するための指針として群馬県総合計画を策定しました。

2 計画の役割

● 県政運営の基本となる指針

本計画は、本県の現状と県民ニーズ、時代の潮流を踏まえた10年の展望に基づき、計画期間（5年間）に実施する県施策の目標・方向を示すものであり、県政運営の基本指針となるものです。

● 市町村・県民と協力・連携しながら県政推進にあたるための指針

地方分権の進展により、県、市町村の役割が変わりつつあることから、市町村・県民と協力・連携しながら県政運営を行っていくための指針となるものです。

3 計画の期間

● 平成23年度から27年度までの5カ年計画とします。

4 計画の構成

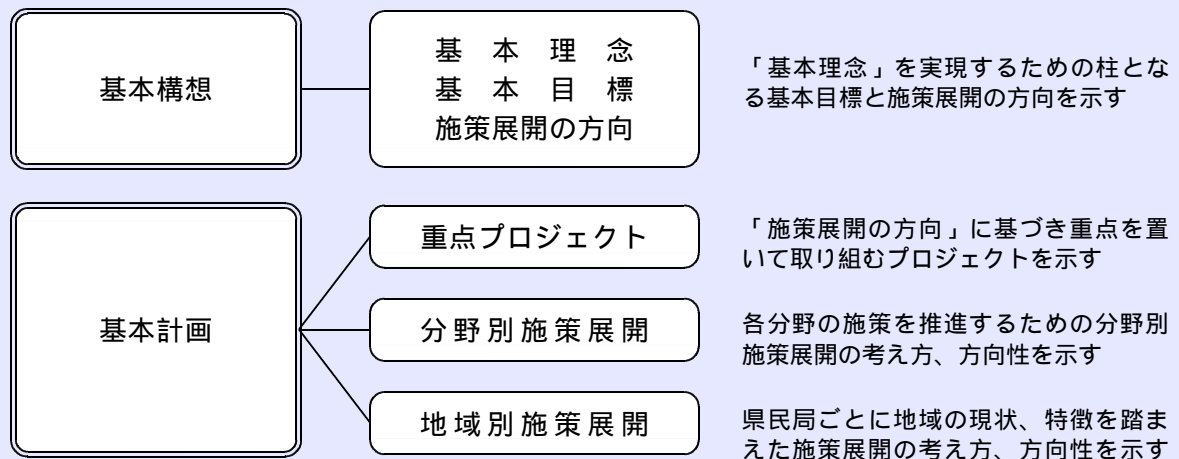
●基本構想と基本計画の2部構成となっています。

「基本構想」では、10年（平成23～32年度）を展望した基本理念、及び計画期間（平成23～27年度）における基本目標と施策展開の方向を示します。

「基本計画」では、基本目標を達成するために、計画期間内に重点を置いて取り組む重点プロジェクト及び分野別施策展開、地域別施策展開を示します。

なお、計画内容を着実に推進するため、年度ごとに進行管理を行うとともに、必要な計画内容の見直しを行います。

図 総合計画の構成



5 計画策定の基本姿勢

●県民の視点による計画策定

県政の主役は県民であり、県政を進めていくにあたっては、県民が何を望み、何を必要としているか、よく把握することが最も重要であることから、県民の意見を聴き、県民アンケート等により意識を把握するなど、県民の視点により計画を策定しました。

●施策テーマの重点化

厳しい社会経済環境を背景に、今後も引き続き厳しい財政状況が続くと予想されることから、限られた予算と人員の中で計画期間中に着実に推進すべき施策テーマを重点化しました。

●群馬の優れた資質、強みを積極的に活かす

群馬の可能性を発見、発掘し、県民すべてが主体性をもって群馬の優れた資質、強みを活かすことを重視して策定しました。

●市町村・県民との新たな役割分担を踏まえた計画づくり

地方分権の進展に伴い、県の役割を見直し、市町村・県民との新たな役割分担を踏まえて計画を策定しました。

●県政改革の推進

事業評価と行財政改革を徹底し、計画を着実に推進します。

はばたけ群馬プランの全体構成

基本構想

群馬県の特徴

県民ニーズ

時代の潮流を踏まえた10年の展望

基本理念

先人から受け継いできた「群馬の限りない可能性」を大きくはばたかせる

基本目標

地域を支え、経済・社会活動を
支える人づくり

基本目標

誰もが安全で安心できる
暮らしづくり

基本目標

恵まれた立地条件を活かした
産業活力の向上・社会基盤づくり

施策展開の方向

次代を担う人材の育成
高齢者が活躍できる社会づくり
産業人材の育成
地域の医療・福祉を支える人
材の育成・確保
人づくりのための仕組みづく
り

施策展開の方向

健康・医療、福祉の充実
暮らしの安全確保
働く人への支援と職場環境整備
環境を守り、持続可能な社会
を形成
安心して暮らせる生活の場づく
り

施策展開の方向

はばたけ群馬の経済戦略
イメージアップ、地域ブラン
ド力の向上
社会基盤づくり

基本計画

重点プロジェクト

「施策展開の方向」に基づき、重点を置いて取り組む各部局を横断した14のプロジェクトです。プロジェクトごとに指標を定め、着実な推進を図ります。

分野別施策展開

基本構想を踏まえ、政策分野ごとの個別計画のベクトルを合わせていくため、各分野の施策を展開するための考え方を示しています。

地域別施策展開

県内5地域において、地域が持つ資質や特性を最大限に活かし、施策を展開していくための考え方を示しています。

政策分野別個別計画